



集古十種

法帖  
定家









尾張家御藏

此文淺及右段あり  
背面左子字あり

<p>天竺僧人か</p>	<p>何れか其の事</p>	<p>心すふわん</p>
--------------	---------------	--------------



秋元家藏

藤原信隆  
昔とてまよ流しつゝえぬた  
たしよかゝるまゝもちと

不遇意

雨は起ふ心まわ  
折れも庭土のふれ  
は海よりふたかむ  
世乃こむ一葉



長州家人益田清之助藏

此名義及古をくら  
背のたううす

けむーまふかやを

あちいてふむむ

伊法こまおた

秋乃遊ふ夕程

三ノ骨

おまむねとかいふまにん

いほのふかこをゆめよし

橋長政

遊まふあつとてか

たまれのまをわすは

措律師

中乃をかくつとを



紀伊家御藏

古ぬいとを海川平  
乃う羅れゆふぬき  
乃ちくちきくほ  
のえきこられは

同  
御藏

先づい  
待りし  
ふたつくまのぬき  
おふぢ



藤堂家藏

君を先春の  
野へ行てわのふ  
つむ我衣手に  
し寺えありつ

雲笏家藏

寺中よみちこま  
ふまねにまをい  
やほ乃たのり  
志のせれくま



加州家藏

竹葉青  
乳屋戸  
了心  
祿不

加州家人本多玄蕃助藏

人た  
海  
雲



東本願寺家人松本主殿藏

古礼のゆへ  
かへふまのゆへ  
志すまのゆへ  
相坂乃世寺

久世家藏

あまのゆへ  
乃休くぬゆへ  
李のゆへ  
た教えあらなむ



成瀬家藏

王教ふ家身をは  
おまへはちんちん  
心と力併れち乃朽  
見交ふふのれ

三井次郎右衛門藏

夏の夜また雪  
なつと雨けぬふを  
雲乃いほこ月  
やいふらむ



三井三郎助藏

又よーのこたま乃  
あまか現よよき  
つあるるんせへ  
ろまうはるわ

南部家藏

あむえて乃ちみ  
しんにくらあは  
じつとま乃十不  
あまけり計也



三井八郎兵衛藏

宇か己志教に書を  
榮法場乃山字人志  
よ波計え示禮と  
修装箱ぬ毛乃志

水戸家御藏

遊居乃とを和し教  
あなはしとを和し教  
ゆく休も新居也  
こゝのみちりぬ



井伊家藏

皎く星如満み紅  
衣みち繁くるむら  
は侍ま心無し  
み遊末満ふふん

仙臺家藏

旅月乃法まなく  
尼寺し和れま  
わの川虫えもか  
う紀お乃トあ



尾張家御藏

百一紀原中  
言及ふまのま  
わつたあ留  
むりり

因州家藏

雨ふれにま  
安んじたま  
身乃侍り  
なごぬる



中川家藏

王教礼志乃心くすへ  
可てはかきこひ  
幸ふなりき赤子乃  
何れとてまゝ

岡田氏藏

堂備装束よ田江  
以てしえ称れり  
衣波志乃名宗  
れんて宗を教む



後藤庄三郎藏

伴ふし色花衣良  
乃みやれやへ作と  
羅幸ふ古乃へ小  
下何む如如の如

後藤庄三郎藏

隠士貴良藏

花乃色衣うり子  
世利文しを清ら  
子乃才走いあ苗  
寺乃火ん世士満仁



田安御藏

山ノ下ノ草  
繁ク木乃枯朽  
草草々々  
志は是遊系村に在

郡山家藏

河原ノ物々みじん  
乃山乃其ノ地  
堂法た乃かた  
寺ノ寺たわん



同藏

田ふ乃浦まう地  
出てん礼を白妙  
の布しれきをのぬま  
伊きんもあつ、

或家蔵

朝ほらき有明の  
月とこふまてま  
芳ぬくはさす  
ふれさるぬゆき



鴻池善右衛門藏

不勢入切肌を山  
乃雨来乃整てたり  
竟ぬれりそぬれり  
伴入入かえり敷

邑上家藏

雨満乃不露るに  
休遊見れはか敷。  
お象みつせぬ山  
伴高し月かえ



或家蔵

峯又々を先てて乃  
野々伴て、わゝふ  
ほむれにふし平に  
ゆきてもる里侍

或家蔵

たしはるぬあ履  
秋乃にてのゆき  
ならてゆり行  
納ん我身知ゆら



あのみ浅いうねあしくれま宝わしてなう  
傳へしそれあ終るもやまも優劣乃論  
あそ及びすまのあ信見乃取捨す人  
事へのあすまのあ信見のあすまのあ  
あすまのあすまのあすまのあすまのあ



3—  
7





